

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アドバネクス

コード番号 5998 URL <http://www.advanex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 加藤 雄一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理本部長 (氏名) 大野 俊也

TEL 03-3822-5860

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	14,247	△35.8	△368	—	△580	—	△548	—
21年3月期第2四半期	22,201	—	179	—	277	—	△32	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△13.80	—
21年3月期第2四半期	△0.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第2四半期	22,909	—	4,165	—	11.6	67.17
21年3月期	23,793	—	5,247	—	14.7	88.29

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,667百万円 21年3月期 3,506百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	△18.6	150	—	△90	—	△200	—	△5.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 一社 (社名

)

除外 3社 (社名

株式会社アキュレイト、株式会社一
化商事、KATO FASTENING SYSTE
MS, INC.

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 40,155,637株 21年3月期 40,155,637株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 452,926株 21年3月期 444,362株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 39,706,432株 21年3月期第2四半期 39,731,902株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月～9月)におけるわが国の経済は、新興国など海外経済の回復を背景に輸出や生産の持ち直し、在庫調整の進展等により、景気が持ち直しの基調にあります。OA機器や精密機器、自動車産業等、当社グループと関連する製造業においても、第1四半期(4～6月)は前年同期に比べ生産が大きく落ち込んだものの、第2四半期(7～9月)には生産が持ち直しました。一方、景気の先行きについては、雇用や設備の過剰感が解消されておらず、また個人消費の低迷が続く等、本格的な回復にはまだ時間がかかるものと見られております。

こうした環境の中で、当社グループの売上高は第1四半期の落ち込みが大きかったため、すべてのセグメントで減収となり、142億47百万円(前年同期比35.8%減)となりました。利益面につきましては、精密組立部品事業における売上の減少に伴う利益の減少の影響が大きかったため、営業損失3億68百万円(前年同期比5億47百万円減益)を計上しました。また、為替差損の発生等に伴い営業外費用が増加したこと等により、経常損失5億80百万円(同8億58百万円減益)、四半期純損失5億48百万円(同5億15百万円損失増加)を計上しました。なお、第2四半期(7～9月)の連結業績につきましては、精密ばね事業において売上の持ち直しと経営合理化策の実行による固定費削減が寄与したことにより、営業利益及び経常利益の黒字化を達成いたしました。

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりです。

① 精密ばね事業

売上高は、OA機器向けや自動車向けが減少したため、前年同期比38.1%減の59億25百万円となりました。売上高の落ち込みがあったものの、国内は第2四半期において、合理化策の実行による人件費を中心とする固定費削減と原価低減の効果が表れ、収益が改善しました。しかしながら、欧米における利益の落ち込みが大きかったため、営業利益は、前年同期比では77百万円減益の47百万円となりました。

② 精密組立部品事業

主力の携帯電話向けヒンジユニット販売において、国内の需要減少に加え、海外において高機能機種の販売が欧米で大きく落ち込んだため、売上高は前年同期比50.2%減の22億16百万円となり、営業損失2億12百万円(前年同期比4億57百万円減益)を計上しました。

③ モーター事業

健康機器市場向けの売上高が減少したことにより、売上高は前年同期比27.6%減の18億37百万円となり、営業損失38百万円(前年同期比29百万円損失増加)を計上しました。

④ プラスチック事業

売上高は、第2四半期に自動車関連向けで持ち直しがありましたが、OA機器向けの受注減少の影響を受け、前年同期比24.2%減の42億68百万円となりました。売上高減少の影響があったものの、前年同期に発生したのれんの償却がなくなったことや合理化による人件費等の固定費削減効果等により、営業損失は前年同期比14百万円改善の1億69百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は以下のとおりです。

① 日本

OA機器・自動車関連向けの精密ばねや樹脂製品の売上減少、携帯電話向け高機能ヒンジユニットの売上減少等により、売上高は前年同期比36.6%減の111億21百万円となりました。ヒンジユニットを中心とする精密組立部品事業の収益が前年同期に比べ大幅に悪化したことにより、営業損失は前年同期より4億29百万円増加し5億63百万円となりました。

② 米国

円高の進行と米国景気の低迷による自動車関連や航空機産業向け精密ばねの売上減少から、売上高は前年同期比29.7%減の7億55百万円、営業損益は前年同期比1億35百万円減益の8百万円の損失を計上しました。

③ ヨーロッパ

円高の進行と英国景気の低迷による精密ばね全般の売上減少から、売上高は前年同期比45.7%減の3億71百万円、営業損益は前年同期比80百万円減益の0百万円となりました。

④ アジア

売上高は前年同期比30.9%減の19億98百万円となりましたが、第2四半期にはシンガポールやタイ、中国においてOA機器や自動車関連向けの精密ばねの売上が持ち直しました。また、合理化による固定費削減効果が表れ、営業利益は前年同期比41百万円増の1億62百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は229億9百万円と、前連結会計年度末に比べ8億83百万円減少しました。

主な要因は以下のとおりです。

資産の部は、棚卸資産が4億64百万円減少し、また有形固定資産が減価償却の実施等により2億58百万円減少しました。

負債の部は、187億43百万円と前連結会計年度末に比べ、1億97百万円増加しました。

これは、事業再編の一環として計上されていた未払費用に対する支払が実行されたこと等の要因により、その他流動負債が8億56百万円減少、また、福島工場閉鎖に伴う早期退職、本社及び柏崎工場の事業所における希望退職の実施により、退職給付引当金が3億18百万円減少した一方で、長期での資金調達を実行したことにより、長期借入金が7億52百万円増加し、また、売上高増により仕入債務が7億10百万円増加したこと等が主な要因となっています。

純資産の部は41億65百万円と、前連結会計年度末に比べ10億81百万円減少しました。

これは、当第2四半期連結累計期間において、5億48百万円の四半期純損失を計上したこと、また円高の影響により為替換算調整勘定が2億45百万円減少したこと等によることが主な要因です。

これらの結果、自己資本比率は11.6%となり3.1%減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期の連結業績とグループ各社の今後の業績動向を踏まえ、平成21年10月7日に発表した通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当第2四半期連結累計期間において、当社が所有する株式会社アキュレイトの全株数を平成21年4月10日に売却したことにより、連結の範囲から除外しております。また、連結子会社の株式会社一化商事は、平成21年6月23日をもって連結子会社の第一化成株式会社が吸収合併し、解散いたしました。

また、平成21年9月11日にKATO FASTENING SYSTEMS, INC.の当社が保有する株式すべてを売却したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。なお、当第2四半期連結累計期間においては、同社の損益計算書を連結しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2 棚卸資産の評価方法

当第2四半期末の棚卸高の算出に関しては、一部のグループ会社につき実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについて正味売却額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

3 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

税金等調整前四半期純利益に重要な税務調整を加えた後の課税所得を基に法人税等を算出しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは米国に端を発した世界的な金融危機と景気減速を背景としたOA機器や精密機器、自動車等の製造業における生産調整の影響を受け、前連結会計年度において売上高の著しい減少、継続的な営業損失の計上に加え、重要な当期純損失を計上したことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在していると認識しました。当第2四半期連結累計期間においても未だ営業利益を計上するには至っていないことを鑑み、引続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在していると認識しています。

これらの状況を解消すべく、経営合理化策の実施による収益改善に取り組み、当第2四半期において営業利益の黒字化を実現したことに加え、平成22年3月期の通期連結業績予想においても営業利益の黒字化を見込んでいること、また資金繰り計画に対する金融機関の支援体制を得ることができていることから、平成22年3月期の事業継続にあたり、重要な不確実性は存在していないと判断しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,949,290	4,017,221
受取手形及び売掛金	6,673,166	6,221,305
商品及び製品	815,410	1,032,884
仕掛品	693,250	668,344
原材料及び貯蔵品	1,417,734	1,690,003
繰延税金資産	22,534	71,016
その他	655,792	801,620
貸倒引当金	△56,330	△22,437
流動資産合計	14,170,849	14,479,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,164,011	2,035,458
機械装置及び運搬具（純額）	2,690,434	2,903,784
土地	2,407,205	2,431,309
その他（純額）	667,437	817,167
有形固定資産合計	7,929,087	8,187,719
無形固定資産		
のれん	58,107	63,815
その他	278,660	157,106
無形固定資産合計	336,768	220,921
投資その他の資産合計	472,835	904,826
固定資産合計	8,738,692	9,313,468
資産合計	22,909,541	23,793,426

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,247,918	3,537,841
短期借入金	3,727,695	3,455,202
1年内返済予定の長期借入金	2,094,687	2,328,062
未払法人税等	78,958	90,796
賞与引当金	46,301	46,852
その他	1,069,306	1,926,277
流動負債合計	11,264,866	11,385,033
固定負債		
長期借入金	4,864,294	4,111,902
繰延税金負債	312,436	328,040
退職給付引当金	1,320,448	1,638,896
役員退職慰労引当金	53,575	62,255
負ののれん	188,090	244,336
その他	739,844	775,692
固定負債合計	7,478,690	7,161,123
負債合計	18,743,557	18,546,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,451,610	3,451,610
資本剰余金	2,571,588	2,572,288
利益剰余金	△1,792,033	△1,158,543
自己株式	△133,236	△133,217
株主資本合計	4,097,928	4,732,137
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,710	△32,241
為替換算調整勘定	△1,439,470	△1,193,692
評価・換算差額等合計	△1,430,759	△1,225,934
新株予約権	18,292	12,587
少数株主持分	1,480,522	1,728,479
純資産合計	4,165,984	5,247,269
負債純資産合計	22,909,541	23,793,426

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	22,201,001	14,247,163
売上原価	17,419,317	11,379,629
売上総利益	4,781,683	2,867,533
販売費及び一般管理費	4,601,926	3,235,643
営業利益又は営業損失(△)	179,757	△368,109
営業外収益		
受取利息	17,568	9,446
為替差益	48,525	—
負ののれん償却額	117,570	62,950
その他	84,831	78,600
営業外収益合計	268,496	150,997
営業外費用		
支払利息	104,698	140,658
為替差損	—	195,943
その他	65,718	26,888
営業外費用合計	170,416	363,491
経常利益又は経常損失(△)	277,837	△580,603
特別利益		
固定資産売却益	12,593	35,393
その他	—	10,775
特別利益合計	12,593	46,168
特別損失		
固定資産処分損	17,485	3,027
投資有価証券売却損	—	14,877
投資有価証券評価損	2,444	—
前期損益修正損	39,839	—
関係会社株式売却損	—	35,177
その他	1,206	15,096
特別損失合計	60,975	68,179
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	229,455	△602,613
法人税、住民税及び事業税	91,908	84,896
法人税等調整額	50,452	△2,435
法人税等合計	142,360	82,461
少数株主利益又は少数株主損失(△)	119,943	△136,974
四半期純損失(△)	△32,847	△548,100

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	精密ばね事業 (千円)	精密組立部品事業 (千円)	モーター事業 (千円)	プラスチック事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,577,424	4,452,059	2,537,968	5,633,549	22,201,001	—	22,201,001
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	135,627	—	—	—	135,627	(135,627)	—
計	9,713,051	4,452,059	2,537,968	5,633,549	22,336,629	(135,627)	22,201,001
営業利益又は営業損失(△)	125,895	244,837	△9,090	△183,952	177,690	2,067	179,757

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	精密ばね事業 (千円)	精密組立部品事業 (千円)	モーター事業 (千円)	プラスチック事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	5,925,014	2,216,261	1,837,736	4,268,150	14,247,163	—	14,247,163
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	47,669	—	—	—	47,669	(47,669)	—
計	5,972,683	2,216,261	1,837,736	4,268,150	14,294,832	(47,669)	14,247,163
営業利益又は営業損失(△)	47,918	△212,975	△38,323	△169,815	△373,195	5,086	△368,109

(注) 1 事業の区分は、製品の種類による区分によっております。

2 各区分の主な製品

- (1) 精密ばね事業……押し・引き・トーションばね、ワイヤーフォーミング、薄板ばね等
- (2) 精密組立部品事業……インサートモールドینگ、ハイパフォーマンスヒンジ等
- (3) モーター事業……DCモーター、コアレスモーター、ギヤードモーター等
- (4) プラスチック事業……プラスチック射出成形品等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	ヨーロッパ (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	17,547,348	1,074,271	685,106	2,894,274	22,201,001	—	22,201,001
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	149,766	9,274	234,163	42,433	435,638	(435,638)	—
計	17,697,115	1,083,545	919,270	2,936,707	22,636,639	(435,638)	22,201,001
営業利益又は 営業損失(△)	△133,785	127,115	81,122	121,141	195,593	(15,836)	179,757

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	ヨーロッパ (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,121,185	755,313	371,696	1,998,967	14,247,163	—	14,247,163
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	58,954	4,231	101,463	10,523	175,173	(175,173)	—
計	11,180,139	759,545	473,160	2,009,490	14,422,336	(175,173)	14,247,163
営業利益又は 営業損失(△)	△563,630	△8,526	842	162,619	△408,694	40,585	△368,109

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦及び米国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) ヨーロッパ ……………イギリス

(2) アジア ……………シンガポール、マレーシア、タイ、中国、ベトナム

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	米国	ヨーロッパ	アジア	計
I 海外売上高(千円)	1,540,585	771,274	7,692,907	10,004,767
II 連結売上高(千円)	—	—	—	22,201,001
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	6.9	3.5	34.7	45.1

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	米国	ヨーロッパ	アジア	計
I 海外売上高(千円)	945,841	355,481	4,771,470	6,072,793
II 連結売上高(千円)	—	—	—	14,247,163
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	6.6	2.5	33.5	42.6

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております
 2 米国以外の各区分に属する主な国又は地域
 (1) ヨーロッパ……………イギリス、フィンランド、フランス他
 (2) アジア……………シンガポール、マレーシア、タイ、中国、韓国、ベトナム他
 3 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。